

子どもたちがまちづくりを考える

— 令和3年度国見町子ども議会 —



登壇して一般質問をする村上京汰議員



開会宣言をする渡邊さくら議長



総括答弁を行う引地町長

国見町子ども議会が11月18日、国見町の議場で行われました。国見小6年生の児童が子ども議長と議員になり、まちづくりに関する質問や提言をしました。

議長の渡邊さんが議会の開会宣言をする、議員席に座る子ども議員の児童6名は、自分たちで考えたまちづくりに関する一般質問を行いました。個人の夢を実現できるような施設の開設や広い世代で楽しめる外国人にも優しい施設づくり、既存施設の利活用方法や歴史イベントの開催、失業者に向けた施策の提案など幅広い質問に、引地町長や担当課長が丁寧に答弁しました。

傍聴の児童たちも子ども議員の質問や町からの回答を真剣にメモしていました。

町の将来を担う子どもたちが、まちづくりへの関心を高める貴重な機会となりました。

子ども議長：渡邊さくらさん
 子ども議員：野村慧介さん、村上京汰さん
 高橋優依花さん、桜澤來楠さん
 八島奎祐さん、高橋旺我さん

秋の叙勲

令和3年秋の叙勲において、町内から太田久雄さん、高橋忠一さんの2名が榮譽に輝きました。



瑞宝小綬章

おおた ひさお
 太田 久雄さん

太田久雄さんは、昭和48年に福島県職員に採用され、郡山市副市長や知事直轄理事を歴任。日赤県支部事務局長を経て、国見町長を平成24年から2期8年務め、東日本大震災後の町の復旧復興に尽力されました。

今回の受章について太田さんは、「大変光栄、本当にありがたい。皆さんに支えられての受章だと思っています。県職員の時代から約半世紀。たくさんの人たちとの出会いがあり、出会った人たちのおかげです」と話され、「積極的に経験を積み、和と連携を大切にしてきました。『先制・和・接点』を座右の銘にして長年公務に取り組んできました。70歳を超えましたが、趣味の野球も継続したいと思っています。これからは皆さんの恩に報いるべく、ボランティアなどの社会貢献活動を行いたい。若い人たちに自分の経験を伝えていくような活動も計画しています」とこれまでの公務人生を振り返り、今後の抱負なども述べられました。

高橋忠一さんは、昭和32年から平成14年まで、45年の永きにわたり町消防団員として第2分団副分団長、分団長などを歴任。町の地域消防と防災活動に尽力されました。

今回の受章について高橋さんは、「受章の連絡が来たときは驚きました。自分ひとりでは受章できない、周囲の人たちに支えられてのこと。『感謝』という言葉しか浮かびませんでした」と今回の受章について話され、「小さい頃から地域の方々にはお世話になりました。その『恩返し』をしたいという思いが強かったです。平成10年の水害の際には、阿武隈川の堤防で2泊3日の水量調査を任せられました。堤防の縁まで水が迫り、立っていた堤防が揺れていたことは今でも鮮明に思い出されます」とこれまでの消防人生を振り返りました。「今後は地域の方に迷惑をかけないように、自分にできることをしながら恩返しをしていきたい」と今後の抱負も述べられました。



瑞宝単光章

たかはし ただいち
 高橋 忠一さん

アレックス先生よろしくお願いします

— 新しいALTの先生が着任しました —



授業を行うアレックス先生（県北中1年）

新しい英語指導助手として、アレックス・ブロウ先生が着任しました。アレックス先生は11月から、国見町の子どもたちに英語指導を行っています。

アレックス先生からのメッセージを紹介します。

皆さん、はじめまして。私はアレックス・ブロウと申します。カナダのモンリオール市からまいりました。26歳です。大学で心理学を学びました。初めて日本を訪れました。子どもの時から、日本に行きたいと思っていました。特に国見町に来ることができて良かったです。うれしくて楽しみです。

私は語学が好きです。学生の時にフランス語やスペイン語、中国語やアラビア語を勉強しました。中でも、日本語が一番興味があります。日本の文化にも興味があります。書道や三味線、太鼓をしてみたいです。ここで皆さんとともにいろいろなことを学びたいです。

誰でも気軽に私に話かけてください。私は日本語で皆さんの間違いをしようのですが、頑張ります。よろしくお願いします!!



Buault・Alexandria (アレックス・ブロウ)
 カナダ・モンリオール市出身 26歳